

夢を語れ、不可能を超えろ

先日、ある研修会で株式会社本田技術研究所の藤本幸人（ふじもとさちと）氏の講演を聴く機会がありました。藤本氏は、兵庫県氷上郡山南町（現丹波市山南町）の出身で、小学生時代から機械好きで、高校生のときには、自分で中学生時代に組み立てた自転車に乗って通学したそうです。その後、社会人になられ本田技術工業（株）に入社し、自動車のエンジン開発に携わってられました。そして、藤本氏が脚光を浴びたのは、水素を燃料とする燃料電池自動車の実用化・量産化の成功に寄与したことでした。

講演は、「夢の力を信じて挑戦を」という演題でした。私は、校長として話を聴きながら、尼崎北小学校の子どもたちにぜひ伝えたいと思うことがありましたので、今回の記事にしました。

◆「満足したら技術は死ぬ」

少しでもよいものを開発したい。その思いが藤本氏にはあります。そして、新しい技術ができてもしっかりとそれに満足せず、さらに上を目指しているのです。子どもたちには、できた喜びや分かった嬉しさを感じると共に、そこで満足せず、次の目標を目指して伸びていってほしいです。

◆「夢を忘れるな」

夢はすぐにはかなう目標ではありません。大きな目標実現のためには、一つずつクリアしていく課題や目標があり、それさえも困難を極めるでしょう。その中を突き進むためには、夢を忘れず持ち続けることが大事なのです。

◆「思いは意地でも形にせよ」

夢や思いは、形にして初めて意味がある、つまり結果を出してこそだと言っていました。もちろん、努力をしてもうまくいかないこともありますし、うまくいかないことの方が多いでしょう。そして、その努力は、必ず自分の成長のためになります。しかし、「努力すればいい」とか、「結果は二の次」ではなく、結果を出すために必死になる強い思いが大事なのです。

楽しかった修学旅行

10月5日（木）6日（金）、6年生が修学旅行に行ってきました。すでに学校のホームページでもお知らせをしていますが、みんな楽しい時間を仲間と過ごし、思い出を作り、絆を深めていました。卒業まで、あと5ヶ月しかありません。いくつもの山を越えながら、誇り高い尼崎北小学校最高学年として、しっかり自分を見つめ、ますます成長していってくれることを期待しています。

